

平成19年度当初予算

19年度の一般会計予算の総額は111億7,000万円で、18年度当初予算と比べ、4.2%の減となりました。

また、国民健康保険特別会計を含む5つの特別会計や本年度から公営企業会計に移行した公共下水道事業会計を含む3つの企業会計、芦原温泉上水道財産区水道事業会計を合わせた、あわらしの全会計の総計は247億7,426万円で、1.4%の増となりました。

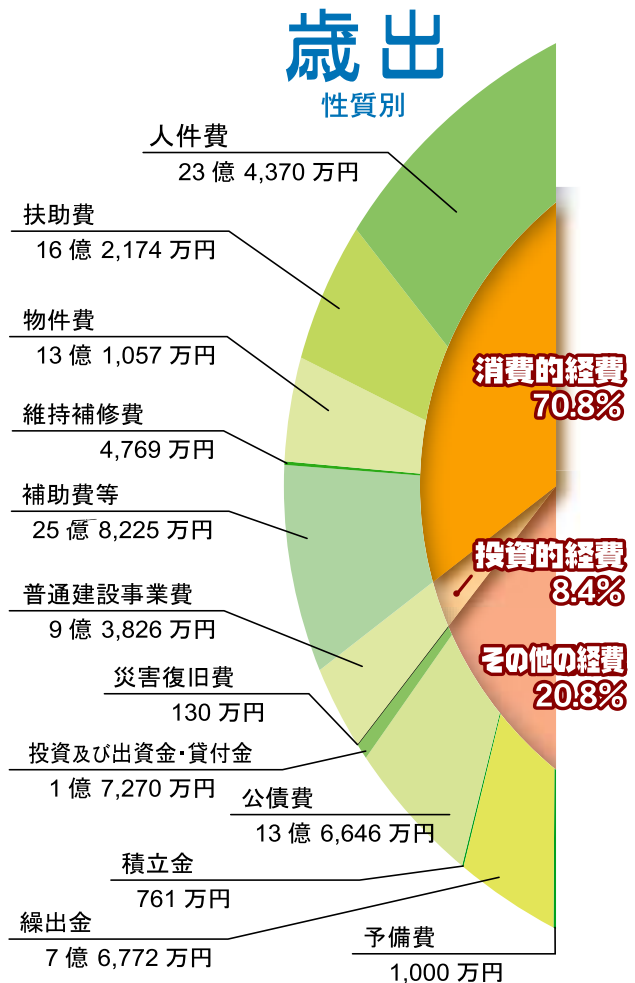
歳入では、市税が、所得税からの税源移譲および定率減税の廃止などによって4億9,915万円の伸びを見込んでいるものの、所得譲与税の廃止を含む地方譲与税2億6,000万円の減、地方交付税3億7,200万円の減、地方特例交付金8,330万円の減をそれぞれ見込んでおり、4億9,000万円の減額となっています。

一方、歳出では、職員の新規採用を合併時から抑制してきたことにより、人件費で1億6,525万円の減、国営総合農地開発事業償還金補助金の終了などにより、普通建設事業が2億3,066万円の減、また、今回、公共下水道事業を公営企業化したことにより、支出項目が繰出金から補助費へと変更され、それぞれの項目で約9億円の増減が生じていますが、これを除いた補助費では実質3億684万円の減とするなど、極力、歳出を抑制してはいるものの、児童手当や各種医療費などの扶助費の伸びが1億3,105万円、起債の償還金が2,146万円の増となっています。今後も、総合振興計画で予定された大規模事業が控えており、引き続き、財政運営は厳しい状況が続くものと予想しています。

一般会計予算 111億7,000万円

歳出

目的別	
民生費	31億 3,728万円
土木費	17億 4,863万円
公債費	13億 6,646万円
教育費	11億 6,855万円
総務費	10億 6,743万円
衛生費	10億 5,128万円
消防費	5億 2,171万円
農林水産業費	4億 9,178万円
商工費	3億 2,607万円
議会費	1億 8,453万円
労働費	8,736万円
その他	1,892万円



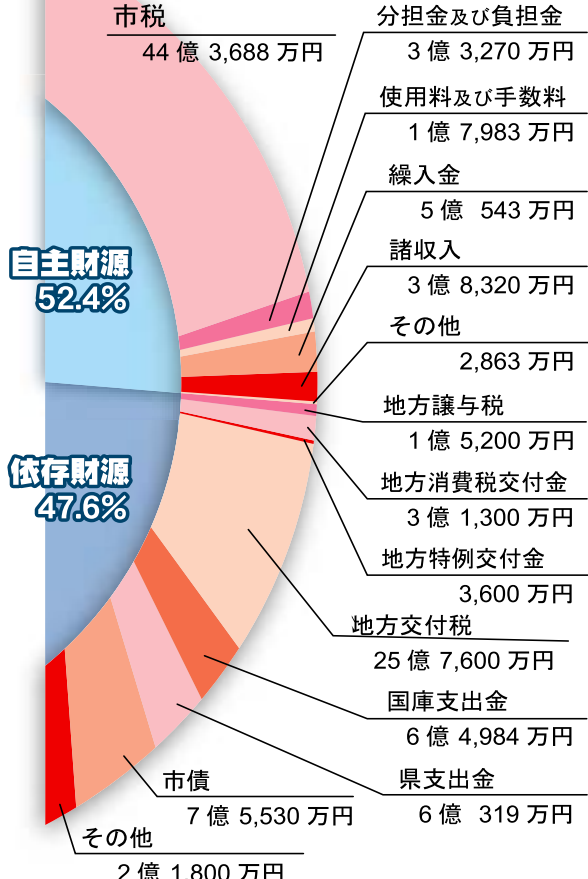
特別会計・公営企業会計予算額

国民健康保険特別会計	29億 630万円
老人保健特別会計	35億 600万円
金津雲雀ヶ丘寮特別会計	4億 1,110万円
農業集落排水事業特別会計	6,800万円
モータボート競走特別会計	26億 9,300万円
公共下水道事業会計	25億 4,310万円
水道事業会計	12億 3,366万円
工業用水道事業会計	1,793万円
芦原温泉上水道財産区水道事業会計	2億 2,518万円

主な事業

行政評価システム構築業務委託料	368万円
参議院議員選挙など各種選挙経費	2,734万円
路線価区域標準宅地評価業務委託料	1,715万円
コミュニティバス運行事業	5,534万円
廃棄物等収集委託料	6,842万円
重度心身障害者（児）医療費助成費	1億 3,500万円
障害者自立支援給付事業	3億 913万円
地域生活支援事業	1,969万円
乳幼児医療費助成費	4,428万円
放課後児童健全育成事業（幼稚園児、小学生）	3,099万円
児童手当支給費	2億 1,869万円
土地改良事業償還金補助金	1億 1,295万円
農地・水・環境保全向上活動支援事業	3,322万円
地域再生マネージャー事業委託料	1,487万円
地方道路交付金事業【雪寒】（十日・嫁威線）	1,500万円
地方道路交付金事業（滝・高塚線）	4,000万円
地方道路交付金事業（金津・三国線）	1億 150万円
特定交通安全施設等整備事業（上新橋線）	2,500万円
まちづくり交付金事業（芦原温泉駅周辺整備）	2億 3,300万円
まちづくり交付金事業（都市公園整備）	1,200万円
建築物耐震改修促進計画策定委託料	340万円
各小学校AED（自動体外式除細動器）配備	269万円

歳入



市民1人当たりの負担と費用

税金	168,182円	分担金・負担金	12,546円	使用料・手数料	41,864円	福祉	89,006円
医療	220,505円	環境・清掃	23,178円	教育	37,136円	消防	16,580円
上下水道	78,854円	産業・観光	24,806円	土木	34,592円	借金返済	86,740円